

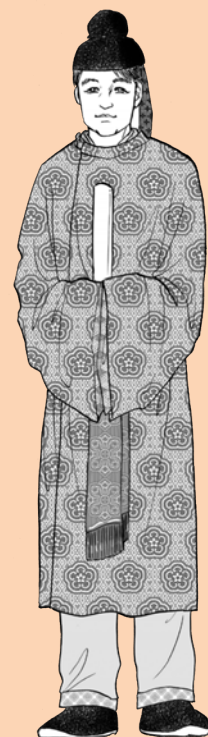
夢ある明日香づくり

村政を担わせて頂き、はや三期 12 年となりました。昨年前半には牽牛子塚古墳等の整備、第 1 回飛鳥ハーフマラソンの開催などに加え、「飛鳥・藤原」の世界遺産登録の推薦書素案の文化庁提出を終えるなど、懸案の取り組みに目途がついたところです。しかし、後半には体調を崩し、皆様にご心配とご迷惑をお掛けしましたことを心からお詫び申し上げます。お陰様で今は元気に業務に取り組んでいます。

近年、新型コロナウイルス感染に始まり、ロシアによるウクライナ侵攻、原油・原材料不足から始まる円安・物価高騰、そして前首相の暗殺など、今までの常識では考えにくい、世界、日本国内の状況でした。村内でもここ数年、危機管理に追われた日々でしたが、幸い明日香村においては、皆様のご協力の下、漸くコロナ感染も落ち着き、日常生活を取り戻しつつあります。5 月の新庁舎への移転を契機に新たな明日香村づくりに踏み出すことができたのではないかと感じております。

今回、この 2 年間の活動を会報 10・11 号として報告させて頂くことといたしました。これからも、お年寄りや子ども達が暮らしやすく、未来に希望が持てる“夢ある明日香づくり”に向けての取り組みを加速して参りますので、皆様の益々のご厚情とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

令和 5 年 7 月 夢ある明日香を創る会 森川裕一



特集 1 新型コロナウイルス感染との戦い 3 年間

2020 年当初から続いた新型コロナウイルス感染は、村内でも感染者数 641 名、死者 1 名（2022.9.27 現在）と 3 年にわたるマスクなどの感染対策や施設閉鎖などの自粛要請、加えて、物価高騰等による生活困窮、事業逼迫などをもたらしました。2023.5.8 以降、感染症分類 5 類に移行したことに伴い、感染状況に敏感に対応しながらも、より良い未来の明日香村づくりに向けて、地域生活や経済活動を再起動して参ります。

新型コロナウイルス感染状況

2020 年に始まった感染第一波から第五波までは、ウイルス感染は 50 代以上の方が多く、高齢者を中心に感染が広がっていましたが、第六波（2022.1 以降）においては、10 代以下の感染者数が増加し、第七波は子育て世代（40 代以下）とその子ども世代の感染者数が半数以上を占めています。今後は、重症化リスクの高い高齢者等への迅速な処置と、若い世代への柔軟な対処が必要と感じています。

なお、2022.9.27 以降、市町村別感染者数の公表がなくなったため、村内の感染者数の統計は終了しています。

各種生活支援状況

新型コロナウイルス感染症対策としては、2022～2024年度の間で、

- ① 一人10万円の特別定額給付金をはじめとする数度にわたる給付金
- ② ワクチン接種などの感染対策事業
- ③ 地域応援クーポン券・公共料金等の減免・持続化給付金などの村民・事業者支援、
- ④ 農業従事者経営支援などの農業支援
- ⑤ 小中学生用1人1台端末の整備などのデジタル化の推進
- ⑥ 世界遺産登録を見据えた観光プロモーションの展開や公共交通の見直しなどを多様かつ機動的に展開してきたところです。

今後も、村独自施策も含め、国・県・民間と連携し、迅速な危機管理に努めます。



新型コロナウイルス感染症に関する 明日香村独自支援プラン

明日香村は、コロナ感染症拡大防止への対応として独自の経済支援・生活支援を行います。 R2.5.20時点

村民の皆様へ

<国・村> 令和2年4月27日時点明日香村に住民票のある方1人につき10万円支給します ※R2.5.1に申請書発送済み

<村> 令和2年6月と7月(7月検分)の水道料金の基本料金(上限5,980円(税込))を減免します ※申請は不要です

<村> 村内店舗(チェーン店・FC店を除く)で利用できるクーポン券を1世帯に2,000円分配布します
※6月中旬頃発送予定

子育て世帯の皆様へ

<国・村> 子育て世帯への臨時特別給付金
児童手当を受給する世帯に対し、児童1人につき1万円を給付します ※6月頃支給予定 申請は不要です

<村> 0歳から18歳(平成14年4月2日以後に出生)までの子どもを養育する世帯に対し、子ども1人につき2万円を給付します
※6月中旬頃申請書発送予定 申請が必要です

マスク・消毒液・医療機関との連携等

<村> 学校、福祉施設、医療機関、公共施設等にマスク・消毒液等を配布します

<村> 非接触型体温計、防護服等防疫用品を確保します

<村> 橿原地区医師会の協力のもと、橿原市・高取町・明日香村の3市町村の連携によってドライブスルー方式のPCR検査を実施します

事業者の皆様へ

<国> 持続化給付金
売上が50%以上減少した事業者に対し、法人200万円、個人事業主100万円を上限に現金給付します
※R2.5.1受付開始

<国> 雇用調整助成金
中小企業が解雇等を伴わず雇用を維持し、労働基準法上の基準(60%)以上の休業手当を支給する場合に助成します

<村> 緊急事態宣言を受け、売上に大きく影響を受けている村内事業者に対して事業持続に向けた支援を実施します

- ① 持続化給付金を受給した事業者: 算定給付額に応じて10～40万円支給します
- ② 売上が前年比30%以上50%未満の減少となった観光業等を営む事業者: 一律10万円支給します
- ③ 令和2年1月から6月に新規開業した事業者: 一律25万円支給します
- ④ 雇用調整助成金を活用し雇用の維持に努める事業者: 一律10万円支給します

失業や休業をしている方へ

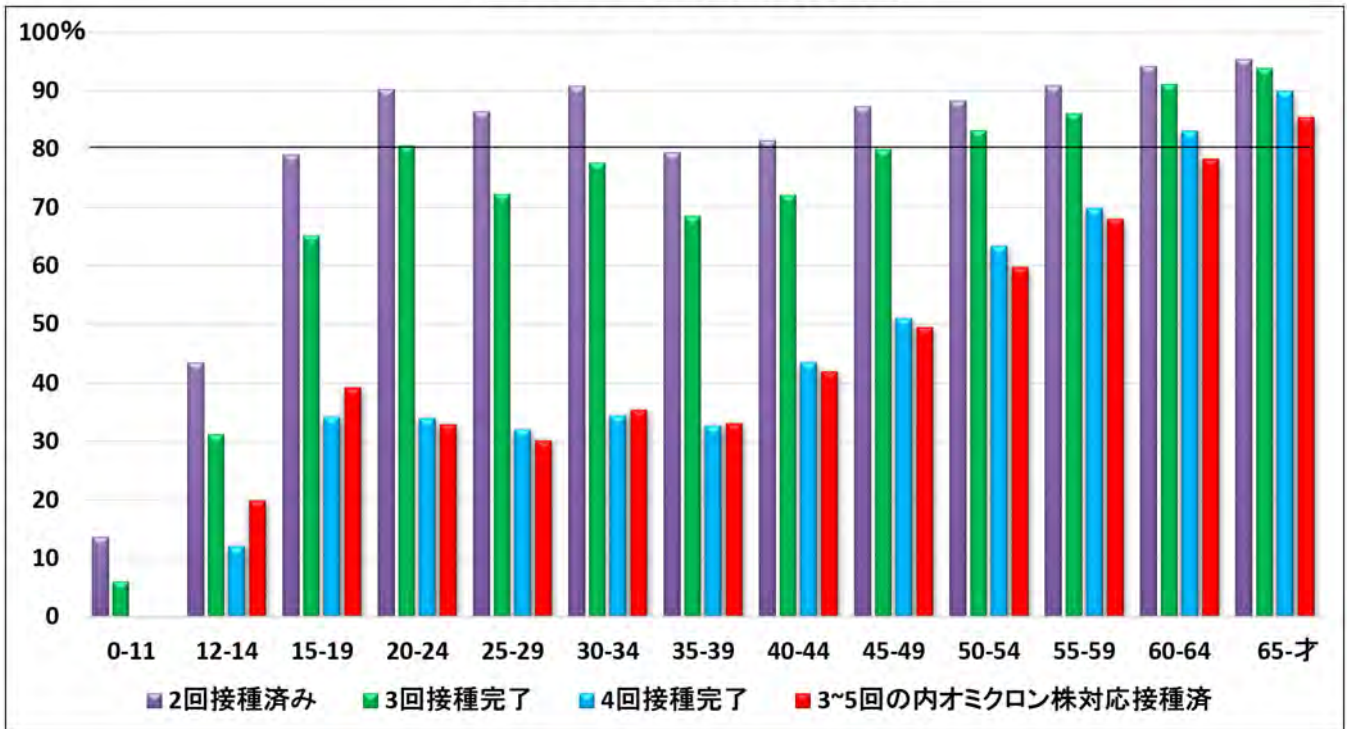
<村> 企業等から内定取消、雇い止め・解雇された村民を雇用し、村内景観維持や農作業等に取り組みます

ワクチン接種状況



既に5月時点で、12歳以上では2/3、高齢者ではほぼ9割の方が、4回目のワクチン接種(概ねオミクロン株対応接種済)を終えています。2023年度は、高齢者や基礎疾患を有する方等に年2回、その他の方に年度後半に自己負担なく接種できる予定です。

ワクチン接種状況図



2021.7~2022.3 の出来事



2021.8.3 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と包括連携協定締結 ▶

◀ **2021.9.16 明日香村社会福祉協議会と樫原青年会議所との協定締結**

—災害時の協力体制—



2021.11.28 防災訓練
集合訓練・心肺補整体験 ▶

◀ **2021.12.23 日本郵政株式会社と包括連携協定締結**
「高松塚古墳壁画発見 50 周年記念オリジナルフレーム切手販売開始」



◀ **2022.3.5 牽牛子塚古墳・越塚御門古墳整備オープン**

2022.3.13 第1回飛鳥ハーフマラソン開催 ▶



2022.3.18 念願の飛鳥大字での電線類の地中化と併せて

「ブランシェラビラ明日香」オープン

一登録有形文化財の築150年の古民家ホテルー ▶



2022.3.20-21 高松塚古墳壁画発見50周年記念シンポジウム開催等

◀ 「同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター」によるVR

パネラーの皆さん全員で、古代服・四神の被り物 ▶



2022.4～2023.7 の出来事



2022.4.11

「明日香交番」がオープン ▶



◀ 2022.7.19

「同志社大学文化遺産情報科学研究センター」と協定



2022.10.18

「伎楽」体験プロジェクト
小学校で体験授業 ▶



◀ 2022.11.6

明日香村運動会開催



◀ 2023.1.19 株式会社クラブ

コスメチックと協定締結
—地産地消の商品造成—



2023.2.12

明日香村村民駅伝大会開催 ▶



2023.2.19

「伎楽」再現プロジェクト
小学生有志が演技披露 ▶



◀ 2023.2.24～

ドキュメンタリー映画
“明日香に生きる” 上映



2023.3.7

牽牛子塚古墳国史跡指定 100 周年記念

バルーンリリース ▶



2023.3.12 第2回飛鳥ハーフマラソン開催

今年も快晴、2587 名が出走。2548 名が完走 ▼



2023.5.8 明日香村新庁舎開業 ▼



特集2 明日香村新庁舎オープン

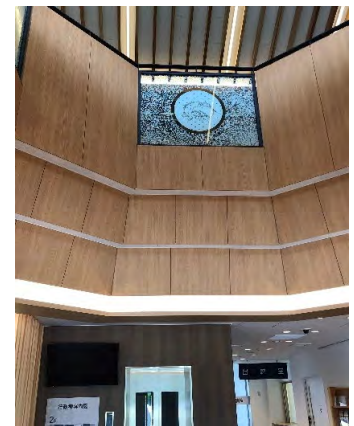
2016年4月 熊本地震の発生時に役場が壊滅し、復興・復旧が停滞したことを踏まえ、老朽化した庁舎の新築移転を期し、2回のパブリックコメントなどの意見交換と土地所有者の皆様のご理解を受けて、構想から7年の歳月を掛けて、新庁舎の整備を行い、今年5月8日に庁舎移転することができました。

中央公民館、明日香小学校、健康福祉センター、明日香幼稚園と一体となって、村民の皆様のくらしのターミナルとなれるよう日々改善して参ります。

昨年新たに設置された交番や防犯カメラの設置や防災訓練などとともに、安全安心の村づくりを加速して参ります。



2023.4.27・28 明日香村新庁舎内覧会 ▼ ▶



▼ 2023.5.8 明日香村新庁舎開業

高槻市長来庁 ▼



2023.5.11 新庁舎オープニングセレモニー ▼



特集3 『飛鳥・藤原』の世界文化遺産登録に向けて

2022.5.18 自民党飛鳥議連
公明党明日香PTにて要望書提出 ▶

2022.6.20 「飛鳥・藤原」世界遺産登録推進
協議会で推薦書素案確定 ▼



2022.6.29 「飛鳥・藤原」世界遺産登録推薦
書素案を文化庁へ提出 ▼



2022.8.20 自民党飛鳥議連、公明党明日香PT 明日香村等現地視察 ▼



2023.5.29 自民党飛鳥議連、公明党明日香PTにて要望書提出 ▼



2023.5.30 「飛鳥ナンバー」普及率全国一位に ▶

世界遺産学習／講演 「飛鳥・藤原の世界遺産登録に向けて」



2021.10.16 協議会による世界遺産シンポジウム 東京 ▶

◀ 2021.7.4 2022.10.19 関西大学文学部

2022.2.13 2023.2.12 関西大学教育研究会 史学文学講座

2022.11.4 聖徳中学校 村長講話 ▼

2023.1.22 明日香村文化協会新年互礼会

2023.5.28 明日香村伝承芸能保存会

2023.4.20 奈良ロータリークラブ 卓話

2023.6.15 奈良教育大学・奈良女子大学 協働科目



2025 年世界遺産登録を目指して

2024.1 日本政府からユネスコ世界遺産委員会への推薦書提出

2024.夏 ICOMOS 現地調査

2025.春 ICOMOS 世界遺産登録に関する勧告



令和5年度 新たな取り組み/これから目指すもの

2025.6～9 ユネスコ世界遺産委員会にて登録決定を着実に進めたい。

2023年内 エバーグリーンの開店、周辺の交差点の改良

2023年内 星野リゾートの事業着手

2024.1 日本政府からユネスコ世界遺産委員会への推薦書提出

2025年 「飛鳥・藤原の世界遺産登録」並びに

「高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設と飛鳥歴史公園との早期一体整備」を要望

また、特に令和5年度は、夢ある明日香づくりに向けての今一段の飛躍のため、各政策分野での支援のあり方を抜本的に再構築し、加速化するとともに、可能なものから事業実施していく予定です。



高齢者支援のあり方並びに拠点施設のあり方検討

- 訪問医療・介護体制の強化

子育て支援施設のあり方の検討

- 時間外保育・子育て世代の働き方支援

既存施設の有効利用の推進

- 周辺の土地利用と併せた現庁舎の一部活用の検討、及び不要建築物の撤去
- 健康福祉センター‘橘’に図書機能を付加させた再整備
- 中央公民館・中央公民館別館のあり方検討、改修設計

新たな交通システムの再構築

- 高齢化が進む中での交通弱者、買い物難民対策
- 電気自動車・デジタル化を中心とする交通体系

世界遺産登録と連携した歴史文化、観光施策の加速化

- 史跡の保存整備活用の加速（高松塚古墳、飛鳥宮跡、苑池、大官大寺、中尾山古墳）
- 世界遺産ルートづくり（インタープリテーション戦略）

飛鳥観光の加速化

- 文化財観光の実施、インバウンド対応、閑散期対策、主要施設の長時間滞在

ごあいさつ

盛夏の候、いかがお過ごしでしょうか。

平素は森川裕一後援会の活動にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

直近の村政運営の現状や森川の進める「夢ある明日香づくり」について、「夢／明日香 Vol.10・11」にて報告させていただきます。是非、ご一読ください。

後援会といたしましても、今後も森川裕一を支援すべく頑張って参りますので、皆様のますますのご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

令和5年7月

森川裕一後援会 会長 中井康允

事務局通信

連絡先：森川裕一後援会事務局

〒634-0124 奈良県高市郡明日香村栢森350

TEL&FAX 0744-54-3973

なお、会員ご入会に関しましては、お手数ですが、ホームページ上で後援会入会申込フォームを埋めてメールいただくか、ファックスしていただき、会費をお振り込みください。

詳細は、森川裕一の公式ホームページ <https://morikawayuichi.com> をご覧ください。

Twitter 明日香村長 森川裕一
@asukavill もお立ち寄り下さい。

